



いさわ
岩手県立胆沢病院の
近況と地域連携

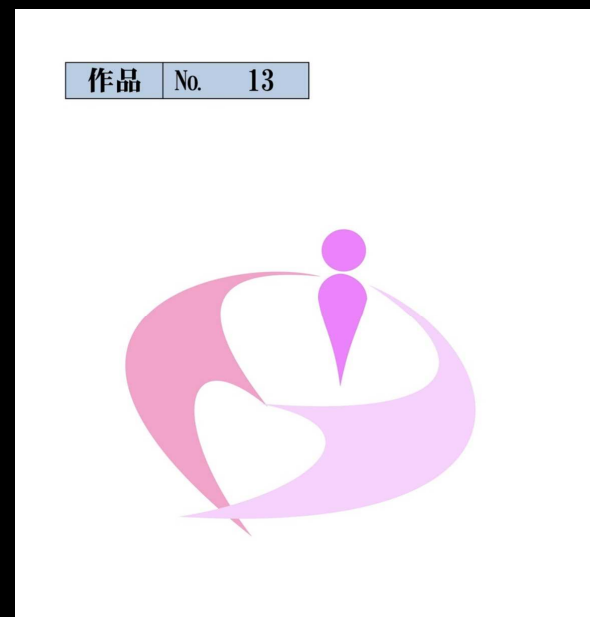


【基本理念】

愛をもって地域住民の命と健康を守る

【合い言葉(スローガン)】

- ・ 誇りを持てる職場
- ・ 人を育てる病院



最優秀作品

胆沢病院 近年の出来事ダイジェスト

- 2014年12月 地域医療支援病院認定：
 - － 外来予約制開始
- 病院理念の改訂
- 2015年9月から手術支援ロボット「ダビンチ」稼働開始
- 2015年11月から新DSA装置稼働：脳血管内治療開始
- 病院のロゴマーク選定
- 2016年 病院ロゴマーク入りのポロシャツ作成
- 2016年3月 病院機能評価3rdG:ver1.1 受審
- 2016年5月 退院後訪問指導開始



胆沢病院 近年の出来事ダイジェスト

- 2017年4月 外来診察室増設→「総合診療科」の看板掲示
– 各専門科との兼任が基本(外科、呼吸器内科、泌尿器科、リハビリ科、神経内科、循環器科など)
- 精神科Dr就任→認知ケアチームへ
- 腎外来開始(岩手医大からの診療応援)
- 8月 無菌室利用開始
- 9月 「物忘れ外来」開始
- 2018年2月 JCEP(初期臨床研修機能評価)受審



胆沢病院 近年の出来事ダイジェスト

- 2018年4月 8階病棟で抑制・拘束ゼロを達成
- 5月 「呼吸の日」に合わせて初の「病院祭」開催
- ヘリポート完成 5/8にドクヘリ第1号到着
- 奥州スマートインター開通
- 10月 入院支援ブースの運用開始
- 心カテ装置更新・稼働



胆沢病院 近年の出来事ダイジェスト

- 2019年4月 吸入指導薬局との連携開始
- 糖尿病専門外来開始(水病の仲地Dr)
 - 当院から水病へ呼吸器内科医1名転任(国保連奨学生)
 - 衣川診療所、水病消化器科、江刺病院循環器・呼吸器科・消化器科外来応援
- 7月 小児科に長坂先生が就任
- 10月1日 処方箋QRコード開始
- 10月1日 消費税が10%へアップ
- 12月 病院の唄「岬めぐり」→「胆沢めぐり」替え歌歌詞決定



胆沢病院 近年の出来事ダイジェスト

- 2020年1月 糖尿病外来、月2回から毎週(月曜日)へ
- 2月22日 外来待合室壁撤去・診察室扉改修工事開始
- 2月 新型コロナウイルス騒ぎ
- 2月28日 新型コロナ対策本部開設、当院DMATが神奈川県庁へ出動



胆沢病院 近年の出来事ダイジェスト

- 2020年4月 心臓リハビリ開始
- 4月30日 コロナ対応でBCP発動
- 7月29日 県内初の新型コロナ患者発生
- 10月26日から岩手医大血液内科 伊藤教授の診療
応援開始
- 11月18日 当院職員に新型コロナ感染者発生 1名
- 11月 改装工事開始・・・医局、化学療法室、救急診
察室、外科診察室、外来化学療法室、CE室など
- 3月15日 職員のコロナワクチン接種開始

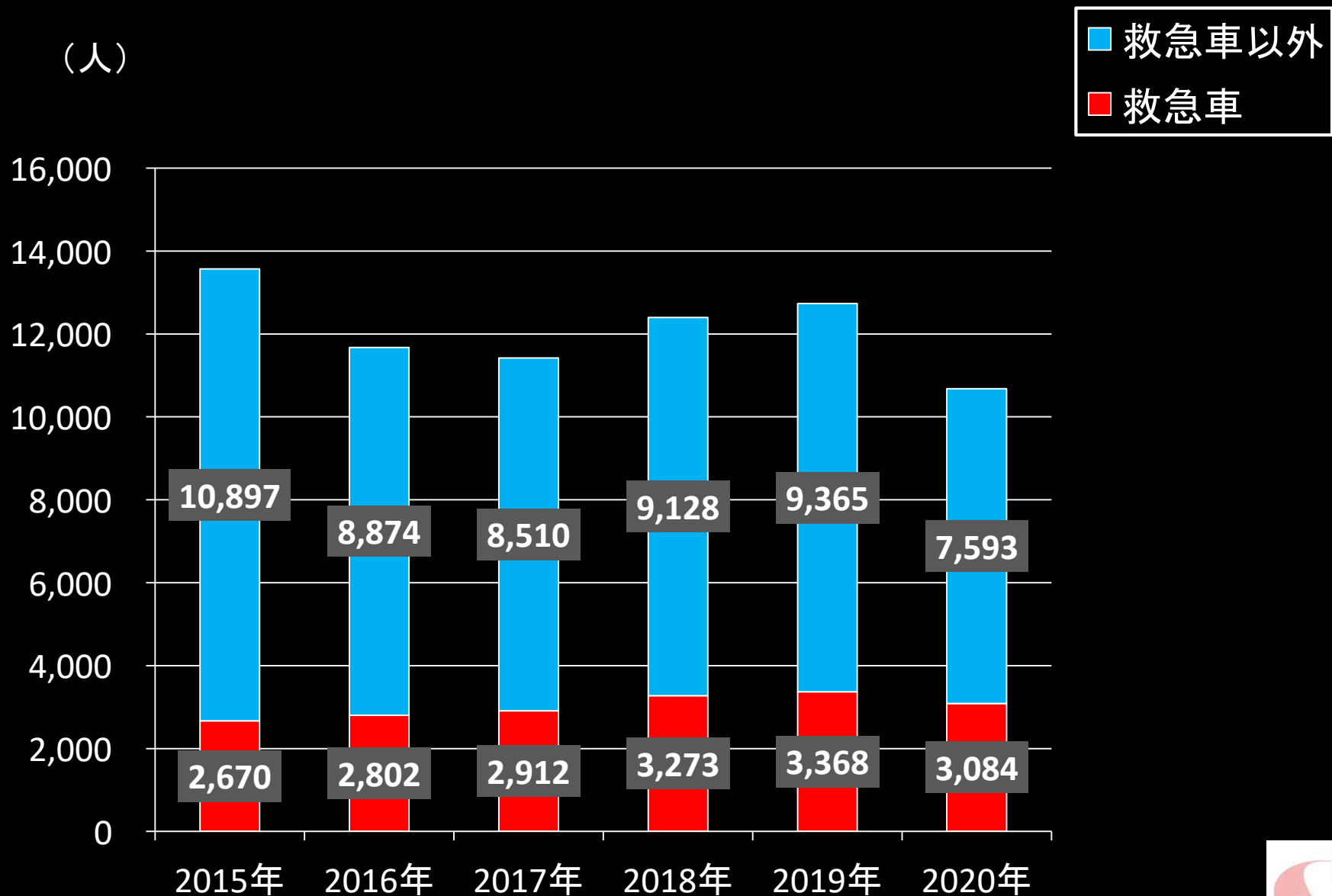


胆沢病院 近年の出来事ダイジェスト

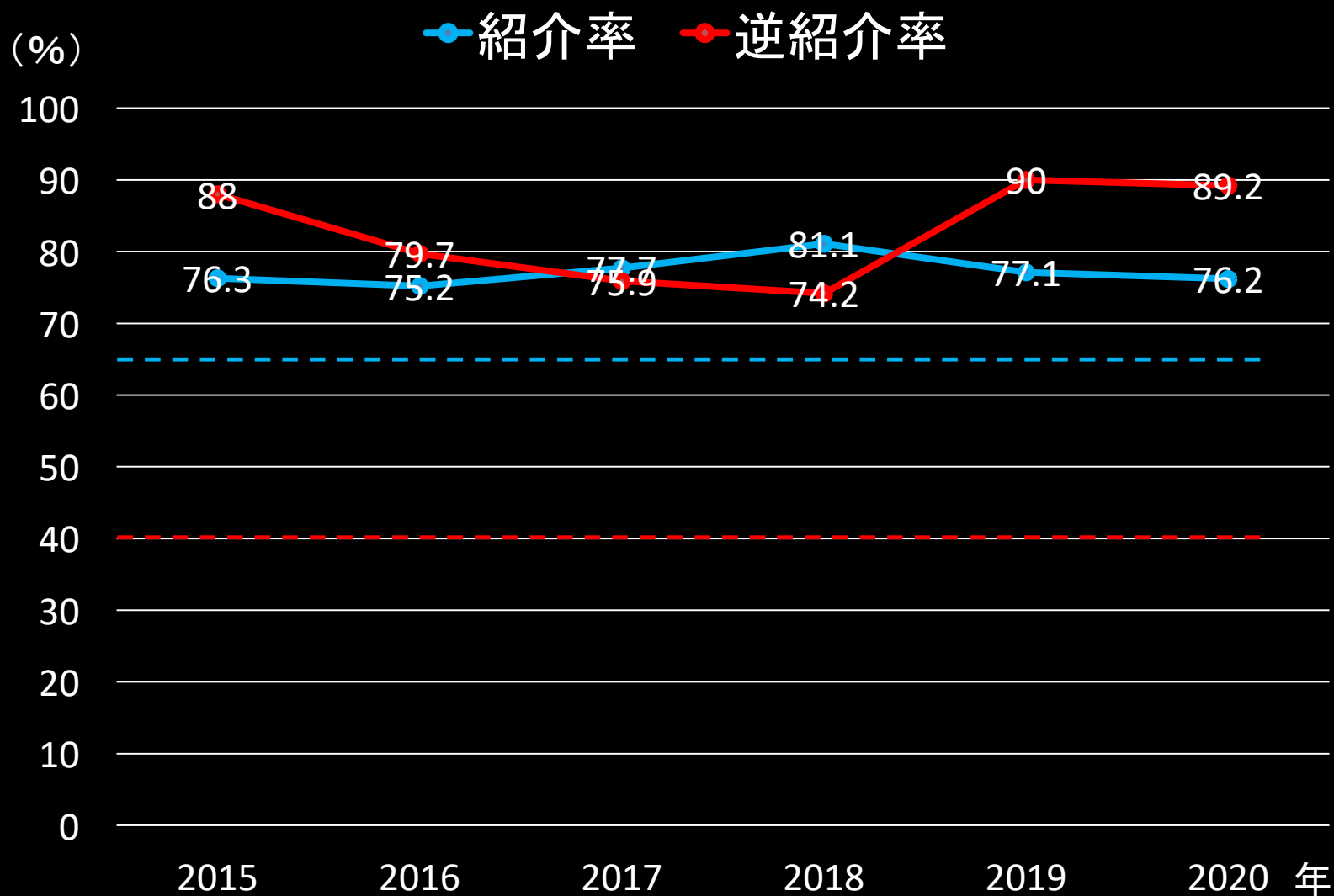
- 2021年4月 中央病院小児科から週末診療応援(月2回)
- 4月18日(日) ドライブスルーコロナPCR検査
 - 病院駐車場で3回目、計69名実施
- 4月27日 コロナ透析患者の受け入れ(1例目)
- 5月1日 4回目のドライブスルーPCR検査・・・〇〇高校関連と〇〇荘クラスター
- 5月14日 膠原病外来:岩手医大からの診療応援再開
- 8月2日 東北大小児科からの外来応援開始(毎月曜日)
- 8月17日 働き方改革に向けて、診療科長面談を開始。
 - リモート端末タブレット、病棟クランク、音声入力、SNS(ラインワークス)などが有効そう
- 10月12日 院内コロナBCP Phase1から0へ



救急患者の状況



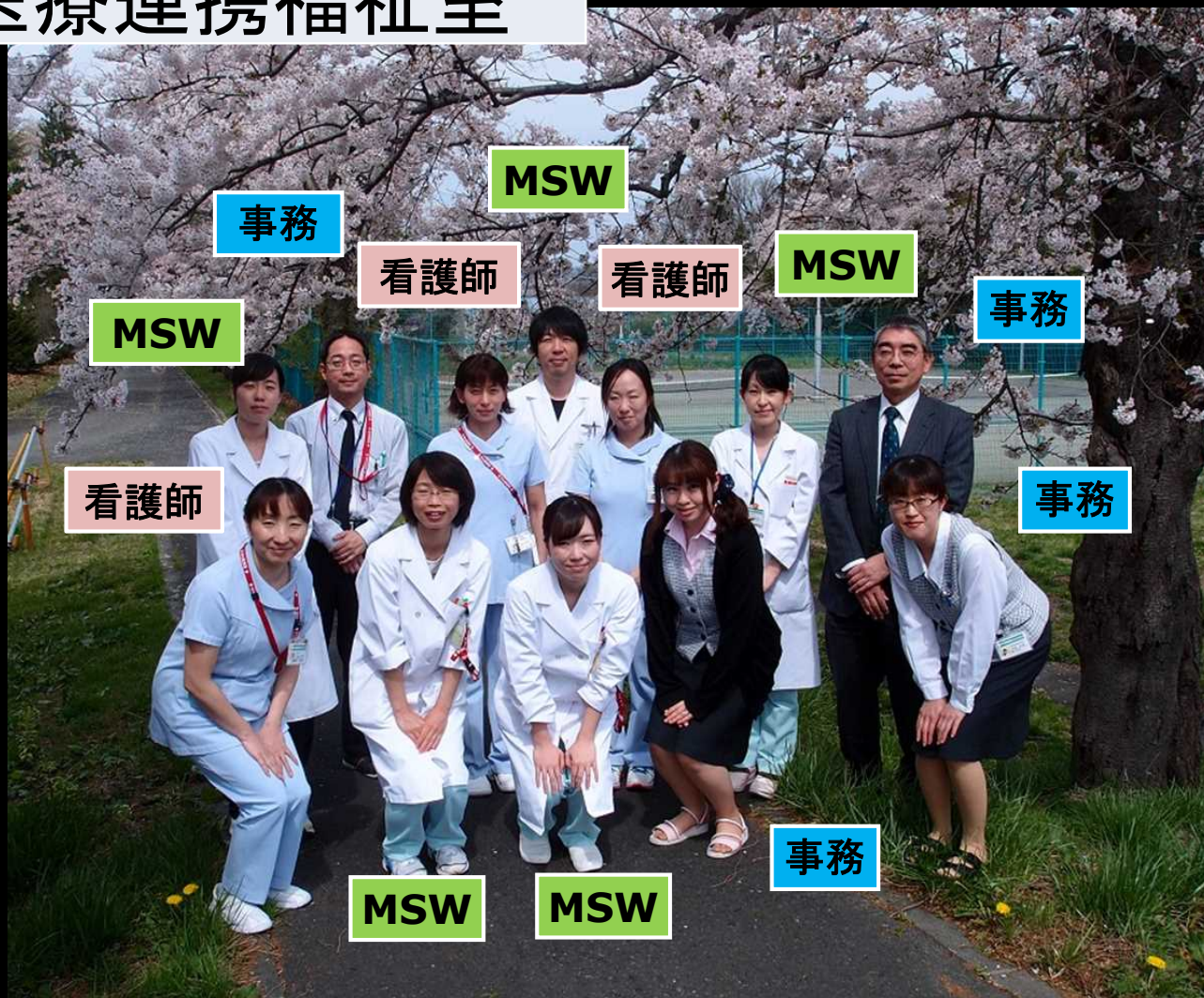
地域医療支援病院紹介率・逆紹介率



* 施設基準：紹介率**65%**以上、逆紹介率**40%**以上



地域医療連携福祉室



現在、	退院支援ナース	3名
	医療社会事業士	4名
	入院支援ナース	3名



かかりつけ医との症例検討 会

平成27年4月から開始

かかりつけ医から紹介された患者の治療についてのカンファレンス
当院の担当医師がプレゼンテーションした後、意見交換

毎月最終木曜日

新型コロナの影響で未開催



住民向け『出前講座』

病院玄関ホールでの健康講演会



新型コロナの影響により開催なし



【地域医療従事者の資質の向上を図るための研修会】 R3年度

- 1 奥州地区感染防止対策地域連携合同カンファランス 1回
・・・web開催 42名の参加
- 2 岩手緩和ケアテレカンファランス
4回
・・・院外の参加者はZoomでの参加 計68名
- 3 褥瘡勉強会 0回
- 4 奥州地区医療連携研究会(地域連携パス) 2回
・・・web開催 38名の参加
- 5 奥州地域吸入療法研究会 1回
・・・web開催



奥州市歯科医師会との連携

◆NST

Nutrition Support Team

入院患者に最良の栄養療法を提供するため、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、言語聴覚士など職種を越えて構成された医療チーム

- ・・・新型コロナの影響で歯科医の参加は昨年10月より休止、来年の1月から再開予定

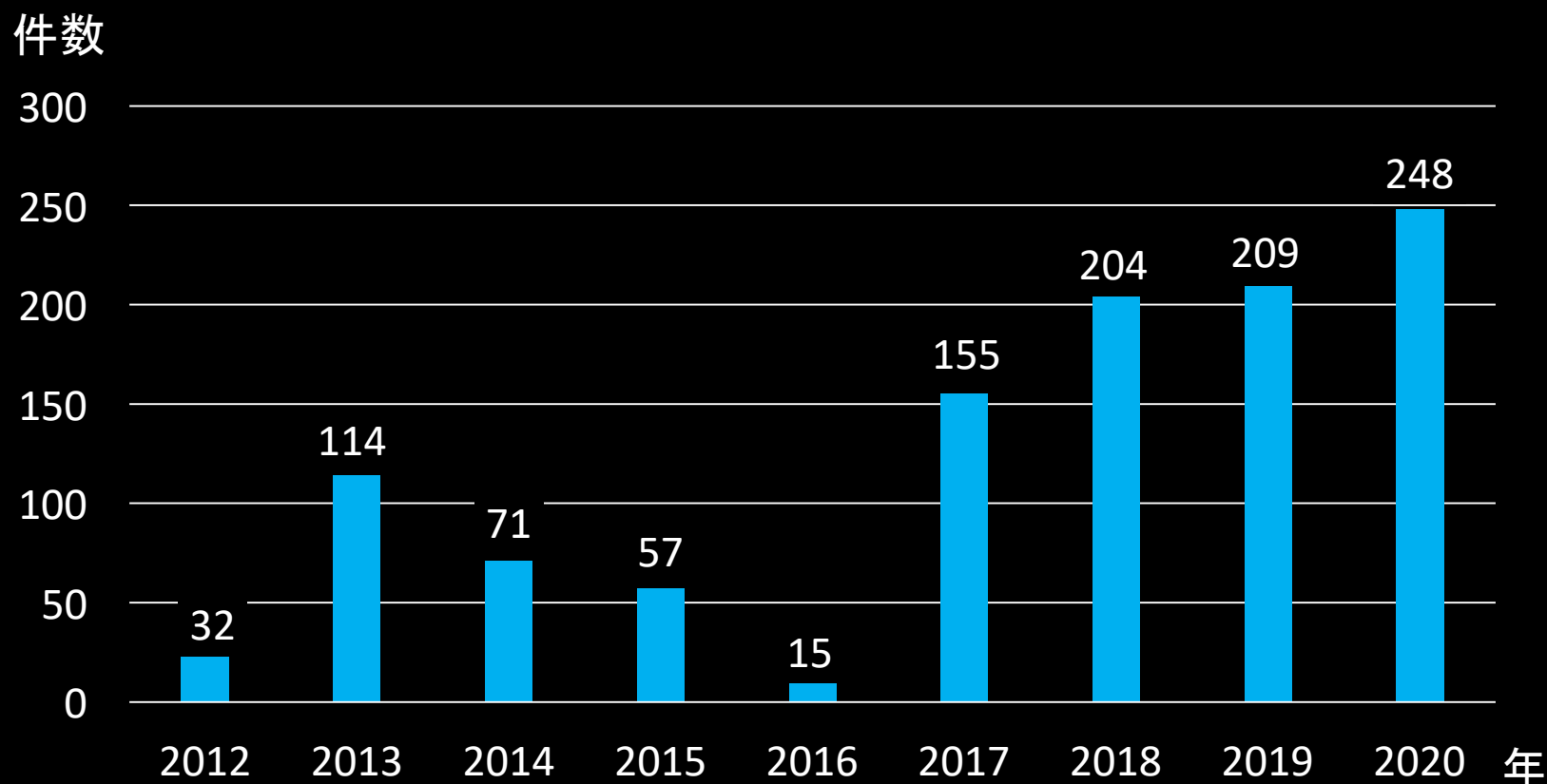
NST回診



◆医科歯科連携

手術術前、抗癌剤治療前の歯科紹介／診察・治療

【口腔機能管理依頼件数】



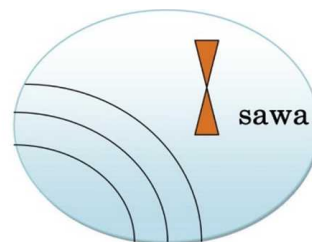
病院ロゴマーク選定！



作品 No. 22



作品 No. 21



作品 No. 19

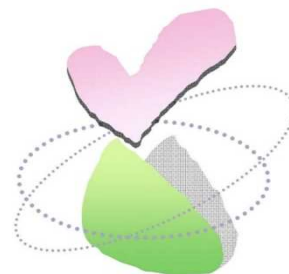


作品 No. 20



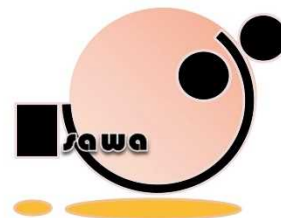
作品 No. 18

- 院内公募→全24点
- 職員投票率8割以上
- 選考委員会で決定

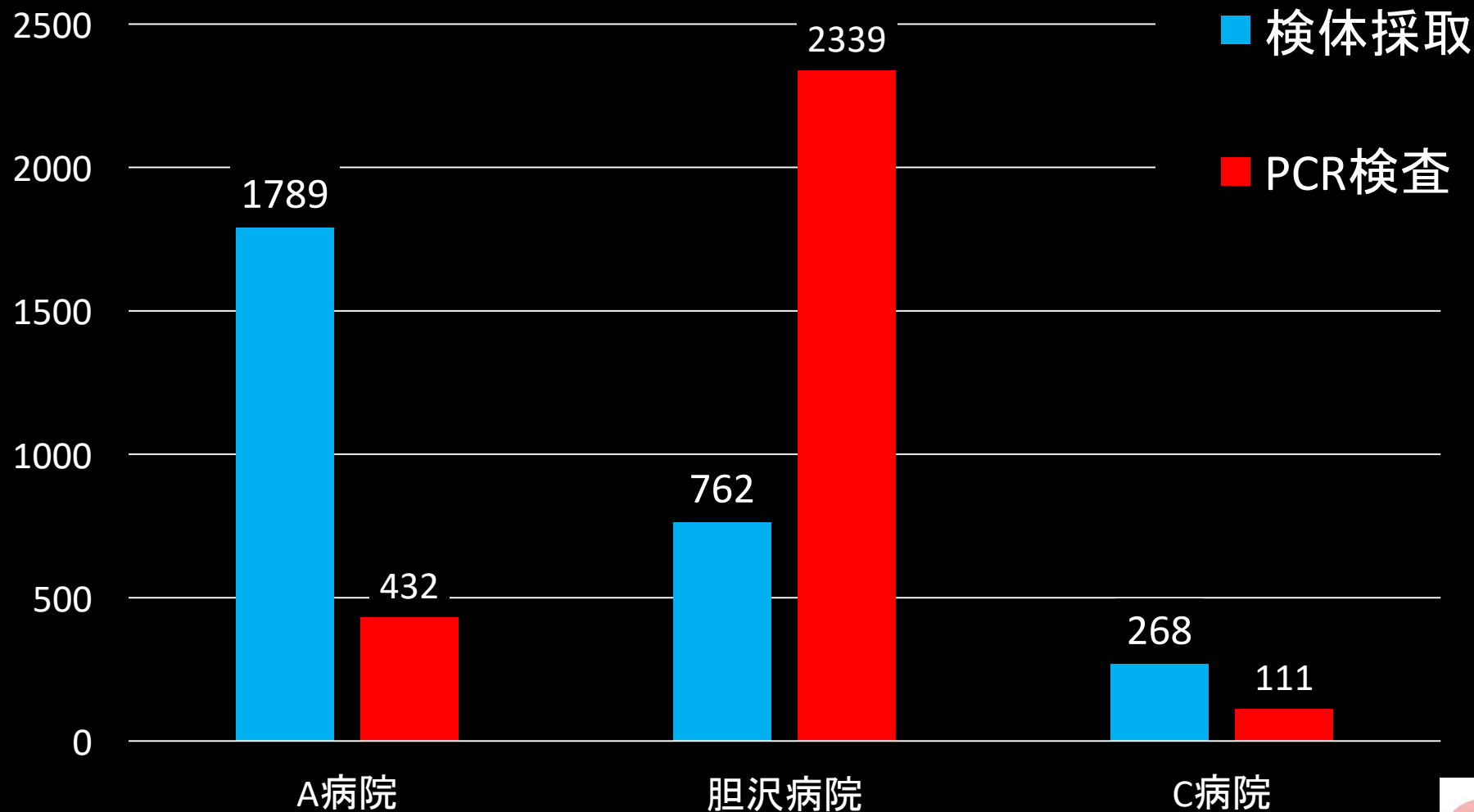


作品 No. 14

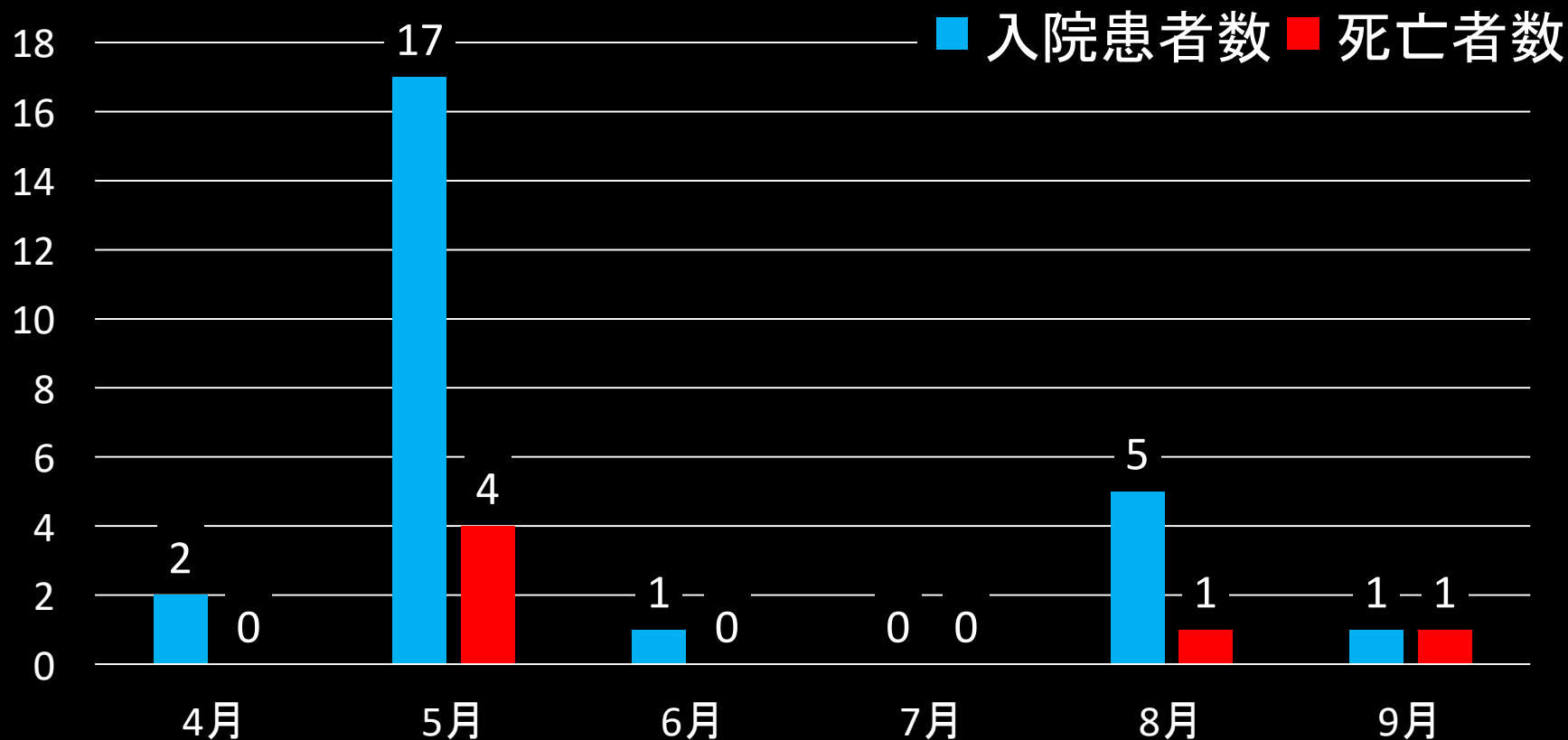
作品 No. 1



胆江地域における新型コロナウイルス検体採取・PCR検査数 (令和3年4月1日～10月8日)



新型コロナウイルス患者入院状況



入院計26名	透析	2名
	人工呼吸器	1名



当医療圏の課題

小児/周産期医療

医療資源の選択と集中 **集約化**

—小児の救急、入院は一箇所を集約すべき

—周産期に関しては二次医療圏の見直しが必要

—「黄金の里病院」構想・・・急性期（＋周産期母子センター）に特化した病院を

当面は、

診療所（医師会）、病院（私立・市立・県立）、福祉、歯科、薬科、行政、介護、リハビリ、訪問看護などの役割分担/連携が最重要

・・・経営母体を超えて、全ての医療資源がひとつの病院のようになればいいと思う



もっと言うなら・・・

地域医療基本法の実現

- 各医療圏毎の医師数の定数化
- 国が管理
 - ・・・民意と政治の力が必要



胆沢病院の文化、心（DNA）

患者を選ばない

救急は断らない

困っている人は何とかしてあげる

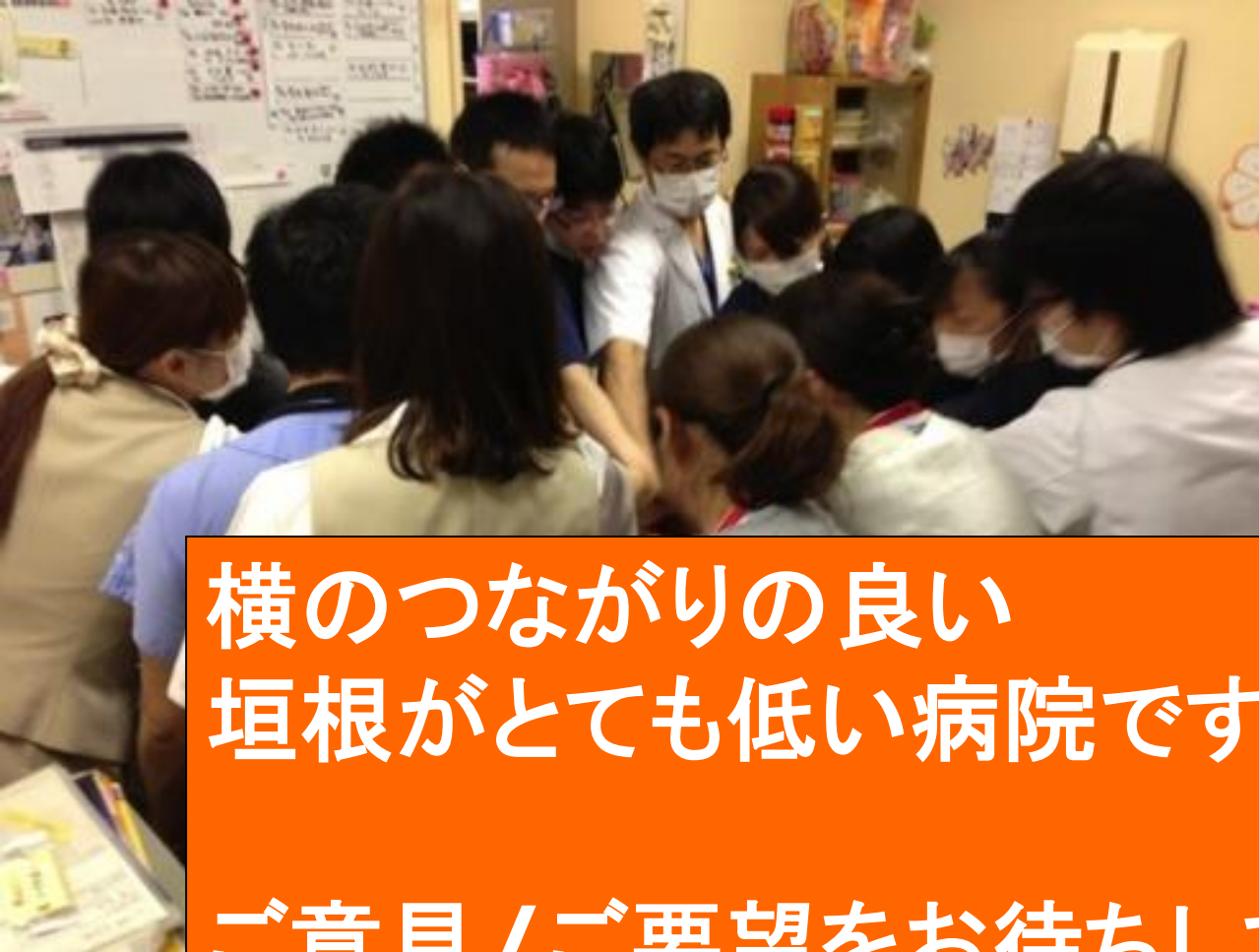
安心させてあげる

後輩を教える、育てる

挨拶、ありがとう etc

・・・*Hidden Curriculum*





横のつながりの良い
垣根がとても低い病院です

ご意見/ご要望をお待ちしております



おまけ

(医師国家試験合格祈願)







平成30年度
「呼吸の日」市民講座
あなたの大切な肺はきれいですか？
第一回
岩手県立胆沢病院祭

